WASEDA University

「具体的な留学プログラム選びのコツ＆学生・卒業生体験談」セミナー

留学センター　Center for International Education

2018.10 秋の留学フェア

①先輩学生は、どんな留学先に行っているの？

②昨年度の出願状況はどうだったの？

③具体的な選び方のイメージは？

（主に長期留学の観点から）

①先輩学生は、どんな留学先に行っているの？

先輩学生の留学先の国を選択した理由（537名調査）

1．その国の文化等に魅力を感じ、そこに住んでみたかったため

2．特定の言語を学ぶのに最適の国であると思ったため

3．学びたい分野について専門の大学・機関があったため

4．指導教員から勧められたため

5．留学費用が安いため

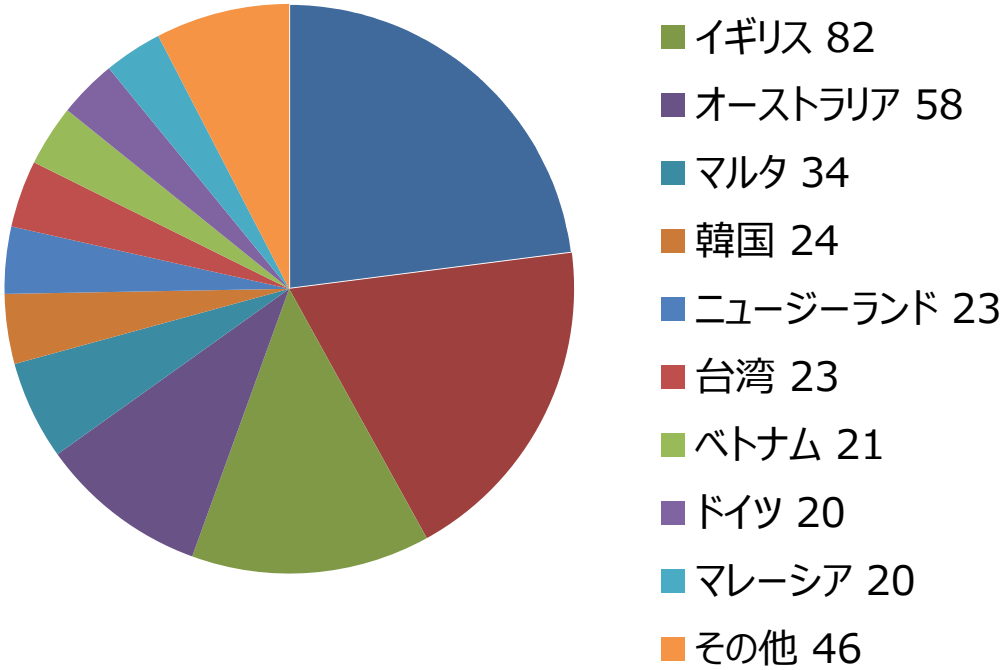
6．今後経済発展が見込まれ、留学経験がのちに役に立つと思ったため

7．過去にその国を訪れたことがあり、親近感を持っていたから

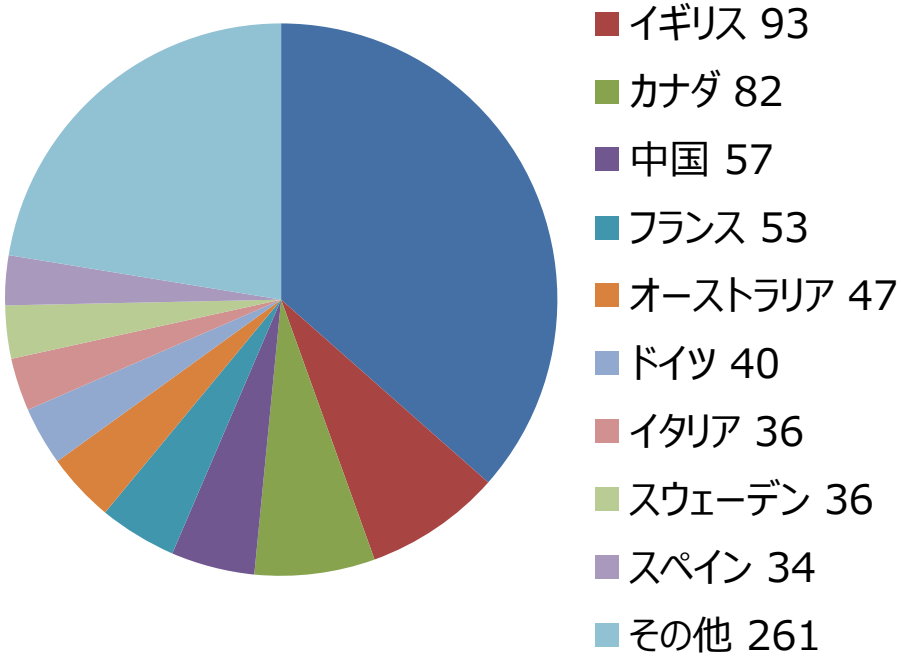
⇒「地域の将来性」「キャリア」「コスト」「英語+α」を意識してみては？

国別留学実績（2017年度）
～早大生の留学実績（短期･長期）～

短期



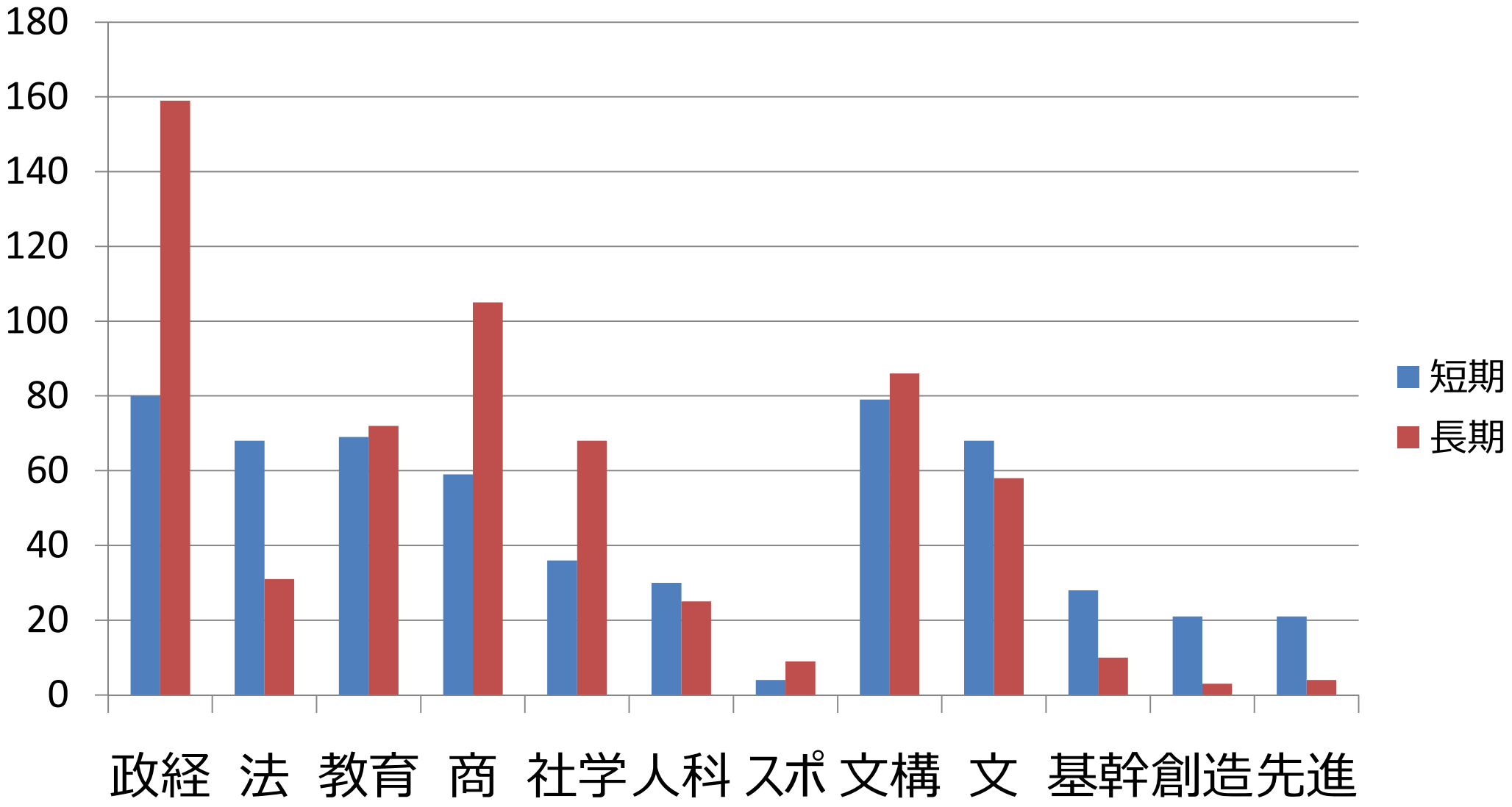
中長期



⇒いずれも、アメリカ、カナダ、イギリスで半分以上！

[アメリカ]留学センタープロ 374
西海岸：144
中部：54
東海岸：176

学部別留学実績（2017年度）
～早大生の留学実績（短期･長期）～（国教除く）



⇒どの学部（研究科）も留学可能！

②昨年度の出願状況はどうだったの？

前回秋の出願状況から（中長期留学）

地域別の充足率は･･･（交換留学･DDの状況）

地域	充足率（決定人数／派遣枠）
北アメリカ （アメリカ･カナダ）	88% （アメリカ：西85%,中82%,東99%）
北ヨーロッパ	75%
東ヨーロッパ	45%
西ヨーロッパ	41%
東南アジア	32%
東アジア	22%

⇒アメリカは充足率が高い。他の地域も考えてみよう！
⇒CS（一年／半期）は、全般的に枠はあまりがある。

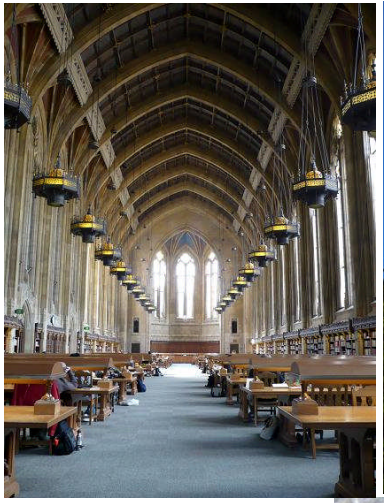
前回秋の出願状況から（中長期留学）

第一志望

プログラム名	人数	割合
EX-R	639	69.8%
CS-L	129	14.1%
CS-L(1S)	48	5.2%
EX-L	37	4.0%
CS-R	30	3.3%
DD	28	3.1%
EX-R(1S)	4	0.4%
	915	

決定

プログラム名	人数	割合
EX-R	508	60.8%
CS-L	186	22.2%
CS-R	55	6.6%
CS-L(1S)	44	5.3%
DD	23	2.8%
EX-L	17	2.0%
EX-R(1S)	3	0.4%
	836	



⇒交換留学は、枠数や人気度をきちんと考慮して選択しよう。

③具体的な選び方のイメージは？

どんな選び方の観点がある？

長期（１年）
中期（６ヶ月）
短期
（1～8週間）

英語、中国語
フランス語、
ドイツ語、
ロシア語、
スペイン語etc

早大学費
or
留学先学費

アメリカ
欧州
アジア
オセアニア
その他

専門学習
外国語学習
異文化体験
企業研修

個人のスケジュールやカリキュラムにより選び方はさまざま

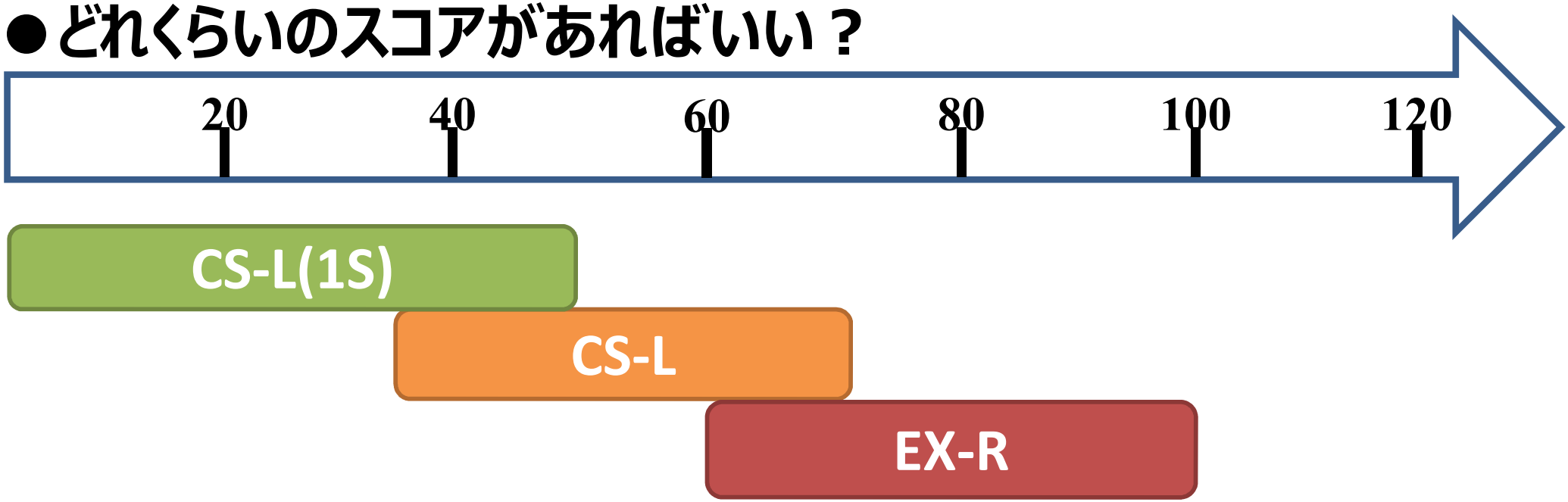
留学プログラムの種別

	短期 外国語学習 異文化体験 企業研修 専門学習	中期 外国語学習 専門学習	長期 専門学習 外国語学習
期間	8日間～8週間	1学期間 （＝半年）	1年間
語学スコア TOEFL	不要	要/不要	原則要
学業成績	不要	要/不要	原則要

必要な語学力（英語の場合）

- TOEFL(iBT)⇒ ほぼ英語圏全域
- IELTS⇒ イギリス等
- TOEFL ITP⇒ ごく一部の語学プログラム
- TOEIC⇒ キャンパスアジアや一部の箇所プログラム等

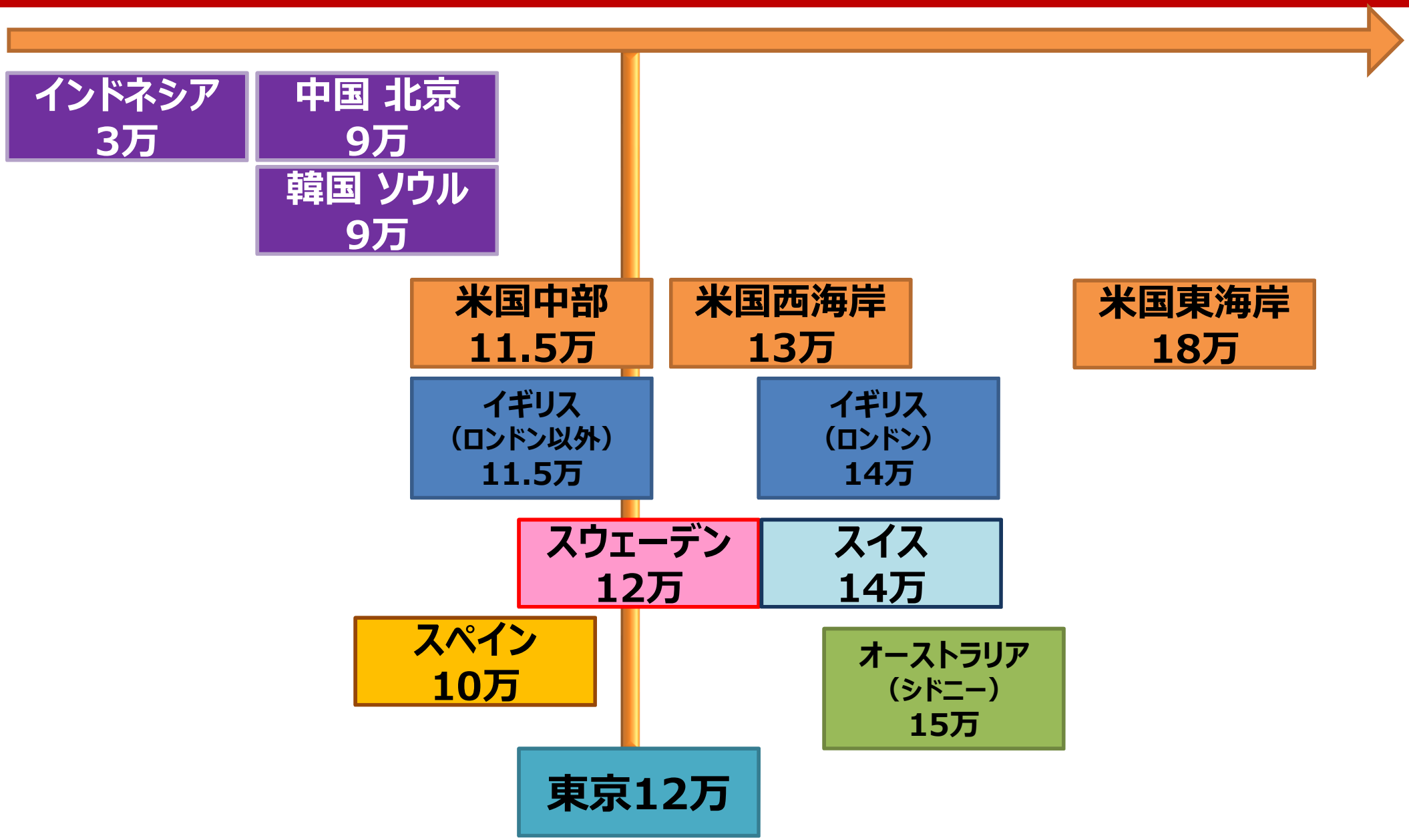
●どれくらいのスコアがあればいい？



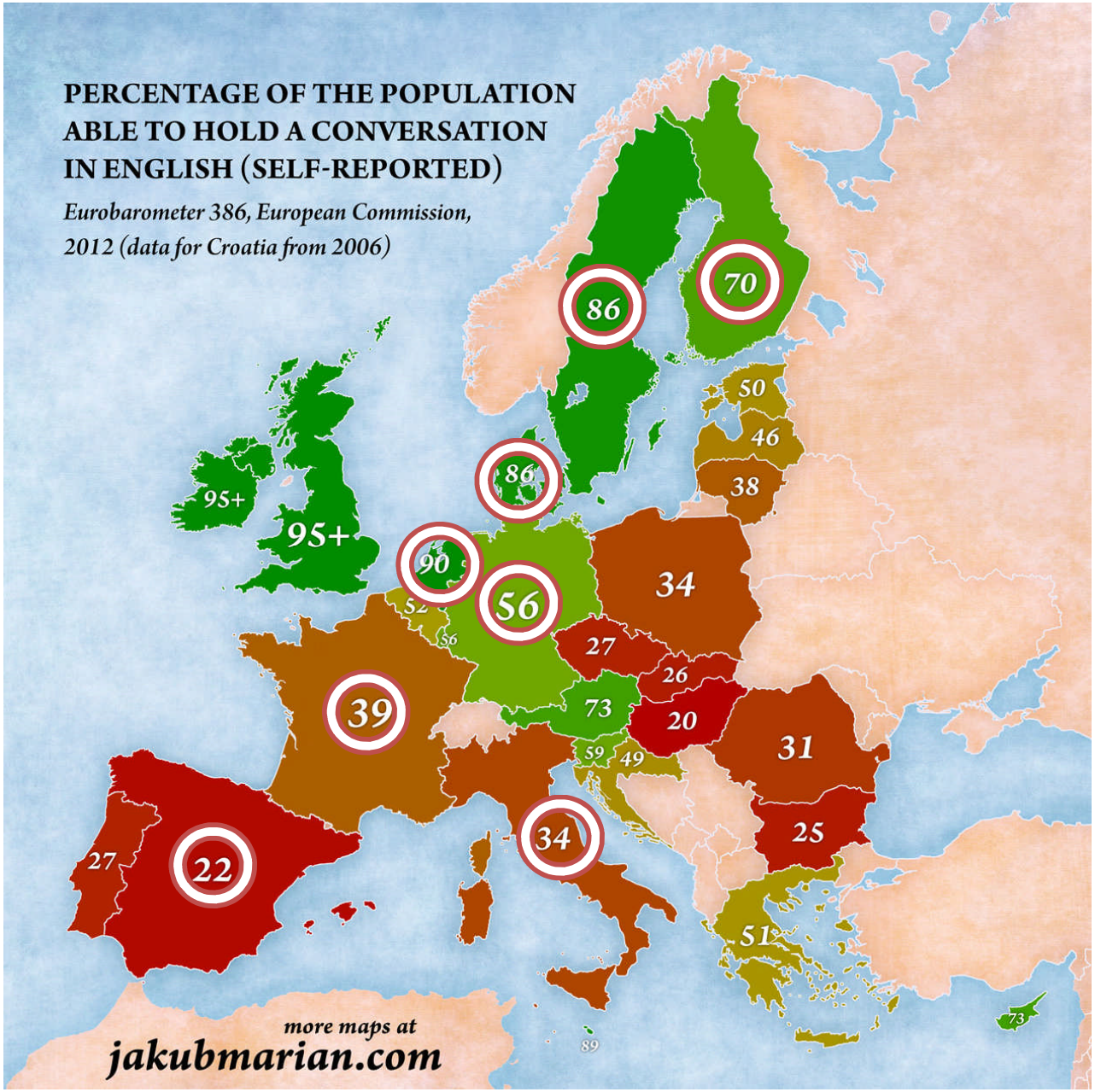
⇒語学スコアがなくとも・・・短期は行ける。中期も行ける。

●語学要件なし中期（予定）
カナダ：UBC
アメリカ：UCデイビス、ハワイ大
ニュージーランド：オークランド大

地域別留学傾向
～各地域の「食費＋宿泊費 ひと月分」（あくまで概算）の比較～



非英語圏の英語プログラム
～英語ネイティブでない国々にも英語カリキュラムがあります！～

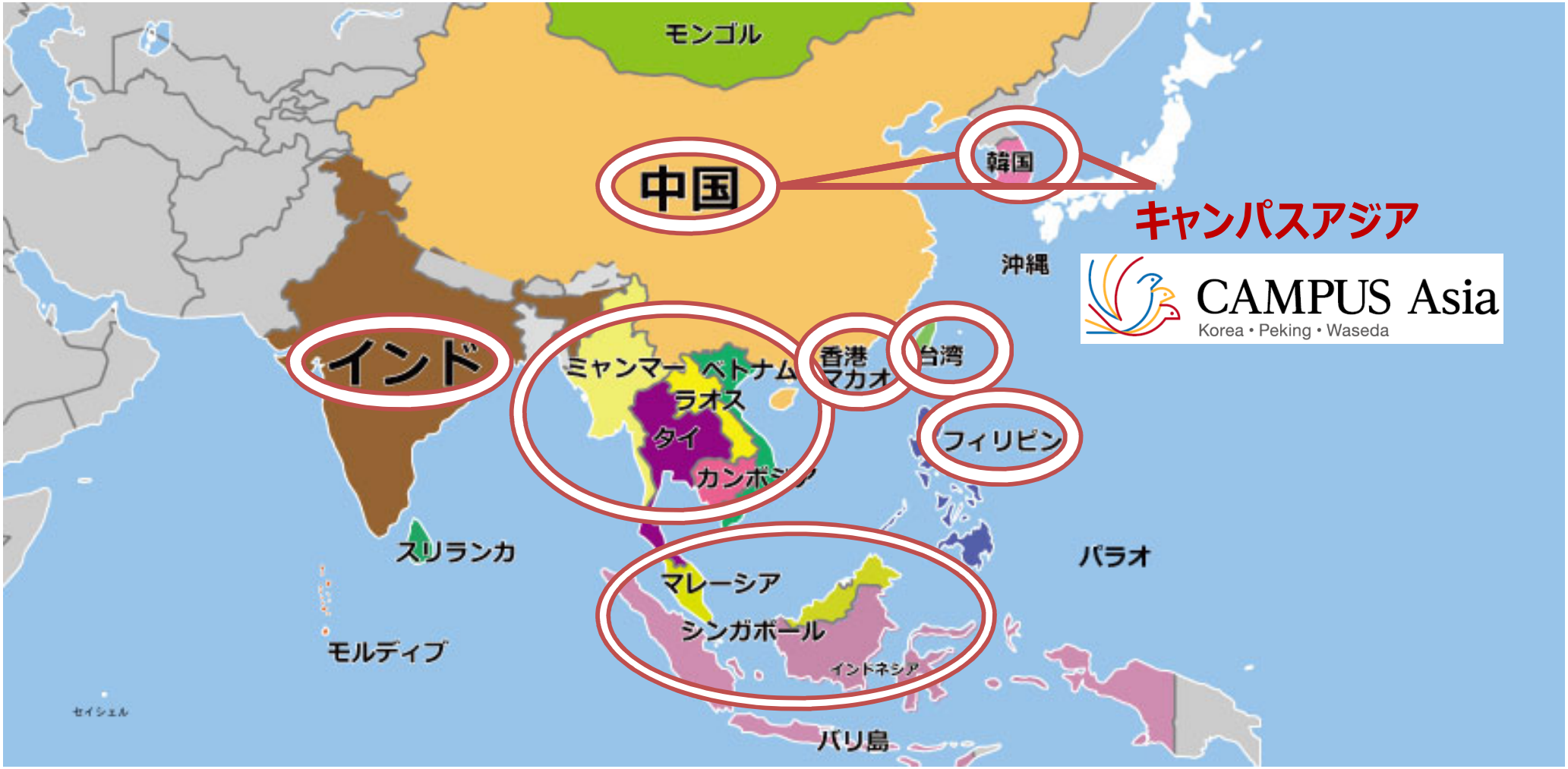


EU諸国で英語はどれくらい通じるのか、英語を話せる人の割合をまとめたヨーロッパ地図

（出典）
Eurobarometer,
European Commission

https://jakubmarian.com/wp-content/uploads/2014/05/conversation-english-eurobarometer.jpg

非英語圏の英語プログラム
～英語ネイティブでない国々にも英語カリキュラムがあります！～



非英語圏の英語プログラム
～英語ネイティブでない国々にも英語カリキュラムがあります！～

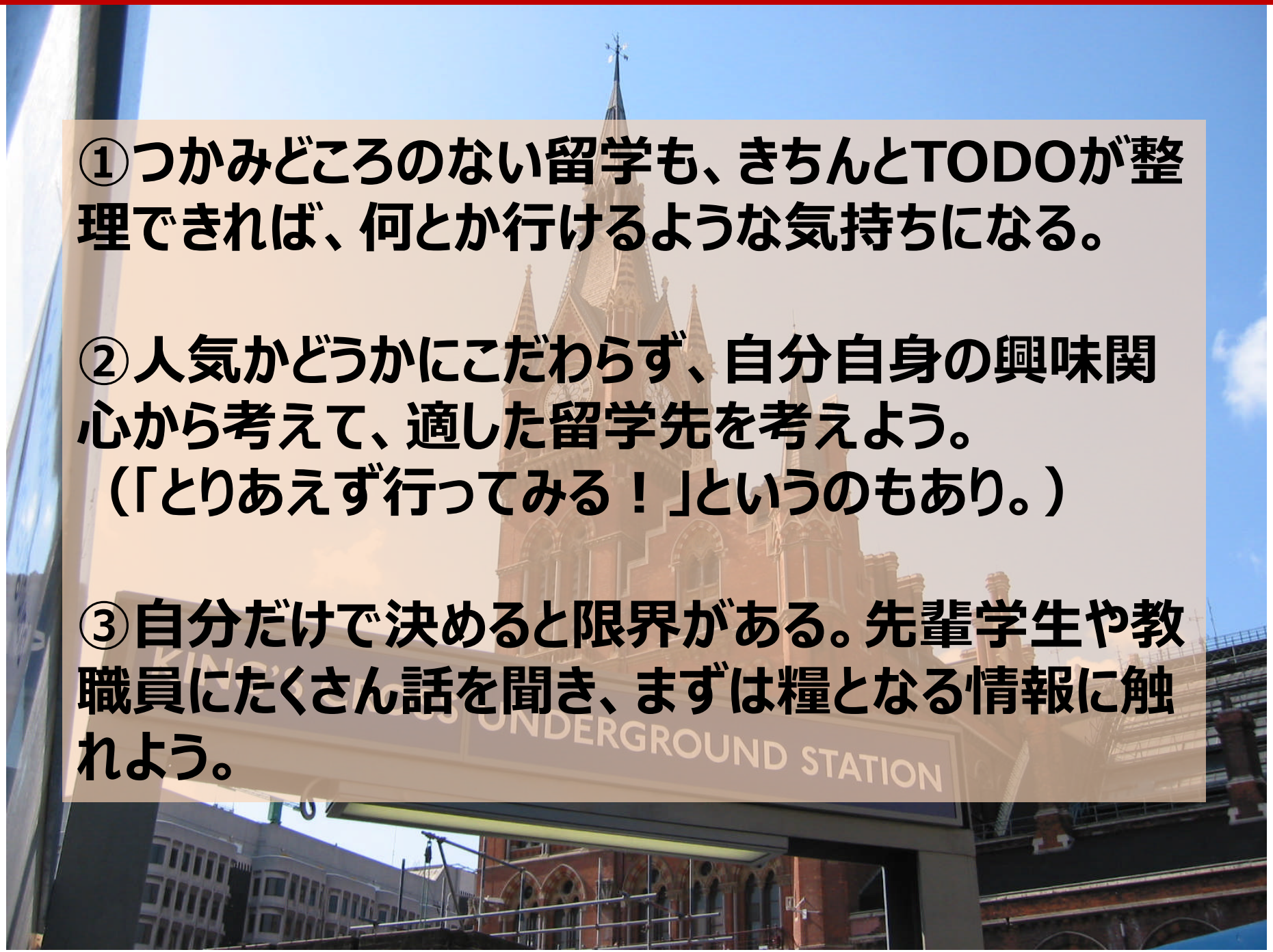
●欧州：
オランダ、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア
●アジア：
キャンパスアジア、タイ、インドネシア等

✓綺麗な英語？でも、ネイティブでない方が実は話しやすい
✓過ごし方によっては英語＋もう１言語習得可能
（※ただし、非英語圏の英語プログラムは、履修可能な科目リストを、出願前によく確認！）

今回の新規協定校プログラム（10/5時点19校）

国	大学名称
アイルランド	Dublin City University Business School
アイルランド	Trinity College Dublin
アメリカ	North Carolina State University
アメリカ	Lehigh University
アメリカ	Indiana University
イギリス	University of St. Andrews
イギリス	University of Liverpool
イギリス	London School of Economics and Political Science (CS-Rのみ)
イタリア	University of Turin
オーストラリア	Griffith University
オランダ	University of Groningen
カナダ	University of Lethbridge
カナダ	Memorial U of Newfoundland
カナダ	University of Saskatchewan
カナダ	McMaster University
スウェーデン	Linkopin University
スペイン	University of Navarra
中国	China University of Political Science and Law
中国	Shanghai International Studies University

まとめ（メッセージ）



①つかみどころのない留学も、きちんとTODOが整理できれば、何とか行けるような気持ちになる。

②人気かどうかにこだわらず、自分自身の興味関心から考えて、適した留学先を考えよう。
（「とりあえず行ってみる！」というのもあり。）

③自分だけで決めると限界がある。先輩学生や教職員にたくさん話を聞き、まずは糧となる情報に触れよう。